

イングランド銀行との賃金紛争解決

英労組ユナイト (UNITE) が合意を公表

イングランド銀行で低賃金スタッフの賃金引き上げを求めて、組合員が8月には3日間のストライキを行うなどしてたたかっていた労働組合ユナイト (ユナイト (UNITE)) は9月6日 (2017年)、この問題で銀行と合意して紛争を解決したことを公表しました。

ユナイト (UNITE)はインターネットサイトで次のように声明しています。

「ユナイト (UNITE)はイングランド銀行の組合員を代表して本日 (9月5日)、同行との賃金引き上げ紛争の終結を宣言した。イングランド銀行のユナイト (UNITE)組合員は8月に3日間のストライキに突入するなどしてきたこのたたかいを労働者の勝利として交渉結果を受け入れる投票をした」。

同サイトの記事でユナイト (UNITE)のメルセデス・サンチェス地域担当役員 (regional officer) は「ユナイト (UNITE)はイングランド銀行との紛争をスタッフ全体の重要な労働条件改善を確保する形で終結することを歓迎する」と話し「ユナイト (UNITE)組合員は、彼らの権利を無視しようとした銀行に対して、断固として立ち上がることを示した。ユナイト (UNITE)は今後の賃金交渉において当初から参加することになる。我々はすべてのスタッフにフェアな賃金を支払うと銀行が確認したことを歓迎する」としています。

そして同記事では「3日間のストライキ行動を通じて、ユナイト (UNITE)の組合員は現在の賃金が受け入れがたいものであることを明白に示した。組合は銀行が改善の必要を認めたことを歓迎する。交渉の中でユナイト (UNITE)は銀行スタッフに追加的年次休暇を保証させ、低賃金スタッフに対して2017年・18年の賃金見直しをすることを保証させた」と説明しています。

闘争解決の投票では60%の組合員が銀行の新提案を受け入れ、闘争を終結することに賛成したとされています。

イングランド銀行の紛争解決について英紙テレグラフ電子版は9月5日の記事で「イングランド銀行と労働組合のユナイト (UNITE)は賃金の低い労働者に特別休暇の追加と追加手当を支給することで紛争解決に合意した。公的部門の賃金引き上げを物価上昇率以下とし、上限1%とすることを同行の最も賃金の低い従業員にも適用しようとする銀行に対して8月に3日間のストライキを行った。交渉の結果、イングランド銀行はユナイト (UNITE)がすべての賃金交渉に参加すること、次期賃金見直しに際して低賃金スタッフに追加的休暇と追加的当ての支給を与えることに合意した」と報じています。

金融・労働研究ネットワーク田中均 (引用文のお原文は英語で、日本語訳は田中によります)。2017年9月23日 up